

『TECHNICAL MASTER はじめての Ruby プログラミング』

<正誤表>

●22～30 ページ 実行結果画面と使用するサンプルスクリプトについて

【訂正】

22～29 ページのソース上部のタイトルのカッコ内に示したスクリプトファイル名と実行結果画面のコマンドで用いているスクリプトファイル名が異なっていますが、ソース上部のタイトルにある「**sample03-0x.rb**」といったファイル名が CD-ROM 内で収録されているスクリプトファイル名となりますので、動作確認時はこのファイルをご利用ください。

なお、30 ページの実行結果画面に表示されている「**print2.rb**」に相当するサンプルスクリプトは CD-ROM には収録されていません。

●44 ページ 本文 2 行目

【誤】 puts メソッドに渡している"hello"や 100 が引数

【正】 puts メソッドに渡している"**H**ello"や 100 が引数

●61 ページ 下段スクリプトのサンプル名

【誤】 文字列を比較する(sample04_03.rb)

【正】 文字列を比較する(sample04_0**4**.rb)

●66 ページ 下段の実行結果

【誤】 じゃんけん

(空白行)

パー

【正】 じゃんけん

パー

●99 ページ 「ローカル変数の有効範囲」のサンプルファイル名

【誤】 ローカル変数の有効範囲

【正】 ローカル変数の有効範囲 (**sample07_02.rb**)

●103 ページ クラス変数のスコープ ソース内 7 行目

【誤】 p @@a #=> "Hi"

【正】 p **@@b** #=> "Hi"

●116 ページ 本文 3 行目

【誤】 使う機会がないもの**もの**もあるでしょう。

【正】 使う機会がないもの**もの**もあるでしょう。

●123 ページ 「chop と chop!

<本文 1 行目>

【誤】 chop **は**メソッドは、文字列の末尾の文字を、

【正】 chop メソッドは、文字列の末尾の文字を、

<スクリプト見出し>

【誤】 chop **は**メソッド(sample09_21.rb)

【正】 chop メソッド(sample09_21.rb)

●123 ページ 「chomp と chomp!

<本文 1 行目>

【誤】 chop **は**メソッドは、文字列の末尾の改行文字を

【正】 **chomp** メソッドは、文字列の末尾の改行文字を

<スクリプト見出し>

【誤】 **chomp** **は**メソッド(sample09_22.rb)

【正】 **chomp** メソッド(sample09_22.rb)

<本分下から 2 行目>

【誤】 chop!**メソッド**は破壊的に動作します。chop!**メソッド**は、

【正】 **chomp!**メソッドは破壊的に動作します。**chomp!**メソッドは、

●131 ページ sample10_07.rb

【誤】 p a #=> 0

【正】 p a #=> **[0]**

●140 ページ inject メソッドについて

【訂正】 inject メソッドの記述に誤りがありました。正しくは以下の通りになります（赤字部分が修正部）。

```
0←引数で与えた初期値
↓
0+1=>1
↓
1+2=>3
↓
3+3=>6
↓
6+4=>10
.
.
45
↓
45+10=>55
↑ 戻り値
```

●141 ページ sort メソッド ソース内 1 行目

【誤】 a = [9, 0, 3, 2, 5].sort

【正】 a = [9, 0, 3, 2, 5]

●203 ページ 怠け者のゴブリン 定義文 1～2 行目

【削除】

205 ページの Goblin クラスのスクリプトには、eat apple がありますので、ゴブリンはリンゴをつまみ食いするように定義していますので、以下の文を削除します。

ゴブリンはリンゴが好きじゃないので、リンゴをつまみ食いすることはありません。しかし、

●205 ページ 2つのソース内 下から 4 行目

【誤】 puts "puts めんどくさいなあ"

【正】 puts "めんどくさいなあ"

●218 ページ 実行結果

【誤】 0.txt

1.txt

2.txt

【正】 data/0.txt

data/1.txt

data/2.txt

●218 ページ スクリプト見出し

【誤】 ファイルを順番にダンプ

【正】 ファイルを順番にダンプ(sample14_15.rb)

【誤】 変数を省略

【正】 変数を省略(sample14_16.rb)

●223 ページ 本文 下から 2 行目

【誤】 上のパターンマッチを p メソッドに与えれば、真偽値を返していることを確認できます。

【正】 上のパターンマッチを p メソッドに与えれば、パターンマッチの返す値を確認することができます。

●223 ページ p メソッドでパターンマッチの結果を表示（CD-ROM 内の sample15_01.rb も）

【誤】 p "abcDEF" =~ /a/ #=> true

p "abcDEF" =~ /ab/ #=> true

p "abcDEF" =~ /ac/ #=> false

【正】 p "abcDEF" =~ /a/ #=> 0

p "abcDEF" =~ /ab/ #=> 0

p "abcDEF" =~ /ac/ #=> nil

<本書サポートサイト>

<http://www.shuwasystem.co.jp/support/7980html/1943.html>

<秀和システム>

<http://www.shuwasystem.co.jp/>